

国の制度として「子ども医療費の中学校卒業まで助成」を求める意見書

わが国の合計特殊出生率は最近若干改善されたものの未だ危機的な水準にある。少子化の進行は人口減少につながり、子どもの健全な成長への影響のみならず、社会経済や社会保障のあり方にも重大な影響を及ぼすことが懸念され、少子化対策は日本の将来に関わる重要かつ緊急の課題となっている。

また、原油を始めとする最近の原材料費の高騰は子育て家庭の経済に大きな打撃を与えている。こうしたことから、子育て家庭の経済的負担を軽減する措置が少子化対策の重要な施策となり、医療面では多くの自治体において子どもに係る医療費の一部負担金を無料化あるいは補助する制度が実施されている。近年中学校卒業まで制度拡大を実施する自治体も増加している。

しかしながら、各自治体の財政状況が厳しくなる中で、子ども医療費助成制度を続けることがますます困難になっていることも現実である。

よって、国におかれては、少子化対策を強力に推進するためにも早急に「子ども医療費の中学校卒業まで助成を」国の制度として創設するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(提出先)
衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣、厚生労働大臣、総務大臣

子ども医療費助成制度の拡大を求める意見書

わが国の合計特殊出生率は最近若干改善されたものの未だ危機的な水準にある。少子化の進行は人口減少につながり、子どもの健全な成長への影響のみならず、社会経済や社会保障のあり方にも重大な影響を及ぼすことが懸念され、少子化対策は日本の将来に関わる重要かつ緊急の課題となっている。

また、原油を始めとする最近の原材料費の高騰は子育て家庭の経済に大きな打撃を与えている。

こうしたことから、子育て家庭の経済的負担を軽減する措置が少子化対策の重要な施策となり、医療面では多くの自治体において子どもに係る医療費の一部負担金を無料化あるいは補助する制度が実施されている。

愛知県におかれては、少子化対策の観点から平成20年度から子ども医療費の助成制度を見直し、入院時の対象年齢を中学校卒業まで及び通院時の対象年齢を就学前まで拡大、実施されてきたところである。

しかしながら、県内各自治体では通院時の対象年齢も中学校卒業までは拡大している動きもあり、同じ県内で子ども医療費の格差が拡大する状況にある。

よって、愛知県におかれては、子ども医療費の施策の重要性に鑑み、早急に「通院時の対象年齢も中学校卒業までに拡大」し、県下同一の状況を創出するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
(提出先)
愛知県知事

後期高齢者医療制度廃止の意見書は否決

Q 今までの制度で支えられないから後期高齢者制度ができた。これを廃止しようとするのか。

A まず元の制度に戻す。医療費抑制ばかりを問題にしているが、検討すべきことをきちんと議論し、正しい見通しに基づいた改革が必要と考える。

Q 年金から保険料天引きをしないとうまい、どう対応するの。

A 従来の方法と同じでよいと思う。
Q 2年毎の見直しで保険料

が値上げされるというが、どういうことか。
A 後期高齢者の保険料が上がる。2年毎に見直され、団塊の世代が後期高齢者になる時が問題だ。

反対討論
後期高齢者医療制度は直していく必要がある。しかし、元制度に戻すには莫大なお金が必要で、大混乱が予想される。見直していくという方向性で考えるべき。

賛成討論
自分の負担は必要だと考えるが、その前に、年金から天引きするなど根本的に直さなければならぬと考える。

75歳からの
75
後期高齢者医療制度
75歳以上の方が対象となります。

議案審議の結果一覧

議案名	審議結果	山田達郎	水川淳	井俣憲治	山下律子	加藤啓二	近藤鎮治	石川正	柘植三良	有元洋剛	石川道弘	若園ひでこ	箕浦克己	中川雅夫	門原武志	近藤秀樹	石川昌弘	山口洋子	橋本洵江	星野靖江	菱川和英	
固定資産評価審議委員会の委員の選任について(石川卓也氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の推薦について(水野元紀知、近藤義房、野々山博行の各氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町放置自動車防止等条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町都市計画税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土地区画整理事業に伴う字の区域の設定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度東郷町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度東郷町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度東郷町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町子ども医療費支給条例の一部改正について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
子ども医療費助成制度の拡大を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国の制度として「子ども医療費の中学校まで助成」を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

中3までの医療費助成(議員提案)で議論白熱

Q この条例改正によって必要とされる費用は。
A 1年間で約800万円。
Q 財源の見直しは。
A 町の財政状況を見ると今後にゆとりがある。東郷町では地震対策が進み、学校の耐震化がほぼ終了している。その余裕を活かして町長はがんばるべきだ。

Q 無料にすると、安易な受診が増えるのでは。
A 安易な受診というが、いつでも行ける安心感は大切だが、
Q 8月1日実施と提案にあるが、財政部局と協議はしたか。
A 協議していない。
Q 無料化の提案にした理由は。
A 住民から最も注目される政策だからである。また、県の施策拡大を契機に各市町で拡大が進んでいることもある。

反対討論
中3までの無料化が適正か疑問である。所得制限なく

一律に無料化がいいのか疑問がある。救急体制が危機的だと言われている中で、他の市町村が先行実施しているが、危機的状況の今後の動静を見極めることも必要であると考えるので、反対。

いこまい館に1億4000万円かけて診療所を移転するならば、こちらを先にすべきだ。財政問題を後回しにしてきた結果、国も地方も借金行政になったと思う。低所得者にはしっかり対応しながら、身の丈にあった行政をしなければならぬ。事業には自分の負担が必要であると考え、反対。

賛成討論
子育ての不安解消、子育て支援という観点で町の活性化になる。無料化拡大で医療費アップに直結するとは認められない。どのような町を作っていくかという時に町の財産となる。安心してきちんとした医療を受けたという直直な気持ちで、安易な受診とはならないと思う。よって賛成。